

- (1)本課題は、各種宅内配線をするものである。
- (2)配線課題A【30分】、配線課題B【60分】の合計90分(途中30分の休憩有)とする。なお、配線課題A→配線課題Bの順番で行う。
- (3)配線課題A及びBの内容は非公開とする。
- (4)配線の方法、TOの位置等は、Fig.6～Fig.8、Table3-A,3-B(当日公表)に基づくこと。
- (5)配線方法は現実の宅内を想定したものとすること。
- (6)配線課題A終了時には、競技委員が配線課題Aの採点ポイントのみ確認する。また、写真等により出来型を保存する。
- (7)配線課題B時に、指定されていない部材を配線課題Bの出来型に追加して使用してはいけない。
- (8)通線作業では、通線器を使用すること。なお、DB-1と外壁との通線は両手を使い配線しても良い。
- (9)2連スイッチボックスのCD管取り付け位置は、左右どちらでも可とする。
- (10)予め取り付けられているCD管のゆがみを直したり、サドル位置を変えることができる。競技開始前でも可能である。
- (11)スイッチボックスは2箇所留めでも良いが、ガタツキがないようにしっかりと固定すること。
- (12)らくワーク用の添え木(柱の想定)をブースに取付けた後に、らくワークの取付けをすること。
- (13)外線からのTELケーブルがある場合は、TO-4で戻し配線すること。
- (14)光ケーブルの配線施工では、可視光検査を行うこと。
- (15)TO-1の表記は向かって左からTO-1(1)とする。
- (16)外壁の収納BOXは設置しなくても良い。
- (17)コンセントプレートへのラベリングを行うこと。各プレートにTOの番号とTable3を参照したジャック位置を表示すること。
- (18)各TOを別の部屋に配置すると想定する場合は、まとめての作業は禁止する(ただし、CD管取付けやBOX、サドル取付けなど可)。
- (19)養生シートや工具は、光課題終了時に片付けなくても良い(片付けても良い)。ただし、出来型が明確になるように整理すること。また、ゴミ等がある場合は減点とする。
- (20)全てのケーブルにラベリングすること。なお、DB-1内のケーブルは行先表示とすること。その他は、任意とする。

- (21)DB-1取付け後は石膏ボードがある想定であり、壁内部に触れるような施工は不可とする。
- (22)DB-1の電源孔は使用しないこと。また、電源ケーブルを導入できる状態にしておくこと。
- (23)競技ブースのパネル(高さ1800mm)より上の整線については、採点の対象外とする。
- (24)インドアケーブルをDB-1内に導入する場合は、適切な余長を確保すること。
- (25)外壁に出るケーブルは切り詰めても良い。
- (26)TELケーブルの結線時に、余った1ペアは切断せずに外被に巻きつけておくこと。
- (27)同軸ケーブルの配線のみ、CD管へ通線せずにCD管へ捕縛しても良い。
- (28)Table3-AからTable3-Bの変更箇所は、以下の指示に従い作業すること。
 - ・接続ケーブル名が削除→対象ケーブル撤去(ただし、同軸ケーブルの場合は撤去しなくて良い。)
 - ・ケーブル接続先のポートNo.が削除→ポートからプラグを抜く。
- (29)配線課題A時に、配線課題Bを想定して呼び線を入れておいても良い。
- (30)TOが取り付けられていない場所は、石膏ボード等が取り付けられておらず、未施工場所とみなす。